

■「仙台市図書館利用者懇談会」(平成30年度)を実施しました。

日頃、図書館を利用いただいている方々から様々な意見を直接伺い、今後の図書館サービスの向上に活かせるよう、5地区館、2分館全てで利用者懇談会を実施しました。



(太白図書館での様子)

《実施状況》

- ・ 実施日時、会場及び参加者

館名	実施日時、会場 参加者
市民図書館	平成31年2月2日(土)10時30分～12時 せんだいメディアテーク 2階会議室 個人利用者2名、小学校1名、図書館ボランティア2名、 市民図書館職員5名 (合計10名) * 予定していた個人利用者1名は欠席
泉図書館	平成31年2月14日(木)13時30分～15時15分 3階読書推進活動室 個人利用者1名、読み聞かせボランティア1名、修理ボランティア1名、 文庫1名、小学校1名、市民センター1名、子育て支援施設1名、泉図書館職員4名(合計11名)
太白図書館	平成31年2月8日(金)14時～15時 地下1階 視聴覚室 個人利用者1名、読み聞かせボランティア1名、対面朗読サービスボランティア2名、太白図書館職員5名(合計9名) * 予定していた修理ボランティア2名は欠席

館名	実施日時、会場 参加者
宮城野図書館	平成31年2月8日(金)13時30分～15時 視聴覚室 個人利用者2名、ボランティア団体1名、児童館1名、区中央市民センター1名、区文化センター1名、宮城野図書館職員5名 (合計11名)
若林図書館	平成31年3月15日(金)14時～15時30分 2階視聴覚室 個人利用者4名、ボランティア団体2名、図書館応援団2名、区文化センター1名、区中央市民センター1名、南小泉児童館1名、のびすく若林1名、若林図書館職員3名、指定管理者1名 (合計16名)
広瀬図書館	平成31年2月6日(水)13時30分～15時 広瀬市民センター 2階会議室 個人利用者4名、ボランティア団体4名、児童館関係者3名、広瀬図書館職員4名 (合計15名)
榴岡図書館	平成31年2月15日(金)13時30分～15時 5階会議室 個人利用者3名、学校関係者1名、榴岡児童館1名、仙台市生涯学習支援センター2名、東口エリアマネジメント協議会1名、東口ガイドボランティア1名、榴ヶ岡市民センター1名、榴岡図書館職員6名 (合計16名)

《懇談会の内容》

図書館から平成30年度の図書館事業の概要と取り組み状況を説明、出席者全員から意見や要望をもらい、説明や回答を行いました。

《出席者からの主な意見》

【市民図書館】

- ・広報活動については、例えば「郷土のかぜ」など毎号楽しみにしている。容量の問題で難しいかと思うが、ホームページにアップして欲しい。
- ・小学生の頃の読書習慣を持たせるのが、すごく大事。こうした経験が心の片隅にあれば、中学、高校時代、他のことが忙しくても、今のような歳になって、「やっぱり本を読みたいなあ」と思えるようになる。
- ・Myライブラリの本棚の使い方について「私はこんな風に使っている」といった使用例があったら良いと思う。アナログな世代にも分かるようなやり方で、「こんな風にはできるんです！」というものがあると良いと思う。

- ・OPAC で資料票を印刷すると、見方が分からない方が多くいらっしゃる。所蔵館のところを見ていなかったり、「貸出可」の意味がよく理解できなかったりとか。例えば「広瀬」とか「書庫2」とあるのに一生懸命探している方などが多いので、分かりやすくした方が良い。
- ・小学生の図書館見学学習で本の修理体験ができると、子どもたちがもっと本を大事に扱うようになるのではないか。
- ・学校図書室の本は古いものが多く、図鑑など10年前、20年前というのが当たり前。学校連携として、図書館から助言することはできないか。

【泉図書館】

- ・図書館の事業は子ども向けが多く、大人向けのものが少ない。特にシニア向けの講座等を増やしてほしい。
- ・「おはなしたまご」等は図書館職員と協同で実施しているが、選書の仕方の視線が異なる等お互いに参考になることが多い。このような事業は今後も継続して欲しい。
- ・紙芝居おはなし会を現在、市民、泉、太白で行っているが、他の各館でも実施できるようにしてほしい。
- ・のびすく泉中央で出張おはなし会（おはなしの森）を開催しているが、絵本が子どもとコミュニケーションを深める有効なツールとなることを親御さんに伝える良い機会となっている。
- ・毎年協同で開催しているビブリオバトルは、中高生が自分たちの言葉で語るきっかけ作りとなっている。今後、成績優秀者には、より多くの人に聞いてもらえる場所で発表できる機会を与えてもらえないか。
- ・学校図書館では、教科書に載っている本のリスト等を中心に受け入れしているが、高学年の児童はそのような本は読んでくれない。選書を図書館で支援してもらえないか。
- ・11月から貸出冊数が10冊までになりうれしく思っている。予約冊数も現在の10冊より多くしてほしい。

【宮城野図書館】

- ・利用者の方々には（音に対して）寛容になってほしい。注意を促す図書館内の表示も厳しくせず、ゆるやかでよい。図書館側で、「図書館はこんな使い方ができます。」というイメージ作りをしてみてもいい。
- ・勉強する場所として図書館を利用することが多いので、「静かにしてほしい。」という気持には共感する。仙台市は、学生が無料で勉強できる場所が少ないのでは。逆に、「ここは絶対静かにして。」というスペースを設けてはどうか。

- ・『仕事に役立つ！本をピックアップ』などを見ると、図書館側が工夫している様子が見て取れる。『本の福袋』も、やるだけではなく『2019 本の福袋 内訳表』として発表しているところが良い。
- ・声に出し、音読することで新たな世界が見える。図書館で 1 冊を参加者で輪読するような企画を定期的にしてもらえたら、と思う。
- ・今年の春から『読書バリアフリー法』という法律が制定される予定らしい、という情報を障害者団体からいただいている。どんな法律なのか、調べて中身を教えてほしい。
- ・移動図書館が、七北田川を越えて、岩切の利府近くまで来てくれるようになり、とても嬉しい。御礼を申し上げたい。
- ・中央警察署前に江戸時代の青柳文庫跡の案内標識があるが、石碑が一つあるのみ。日本で最初の公共図書館であるにもかかわらず、それ以外、何の表示も無いのは非常に残念。
- ・以前、建物 1 階のガラス壁に、外に向かって「宮」「城」「野」「図」「書」「館」と貼り紙していたが、なぜなくなったのか。宮城野図書館の場所は、現在でもわかりにくい

【太白図書館】

- ・(仙台市の 7 図書館の資料の貸出し・返却や宮城県図書館の資料の返却ができるなど) 広域的に運用されているので、便利だと思う。
- ・開館時間が早くなっても自身には影響がなく、むしろ土日の閉館時間を 19 時位までになると良いと思う。
- ・中田サービススポットのような取組みを広げて、市内の各市民センターで返却や受け取りができるように拡大し、自分の住んでいる地域でも実施して欲しい
- ・新システムになって使いやすくなった。
- ・ホームページで検索した時に表紙の画像や目次をみることができると便利だし、本の内容に関するイメージもできて、借りたいと思う意欲も湧く。

【若林図書館】

- ・職員の感じがとてもいい。文化センターに回ってくるクレームがほとんどなく、若林は穏やかな人が多いという印象を受けている。
- ・自主事業が多いことに驚いた。「知る」ということを体験することは大切。若林図書館らしい企画を今後も行ってもらいたい。
- ・職員の方々はさわやかな印象がある。中学校に教員としていたころは、ブックトークに来ていただきありがたいと感じていた。小中学生に活躍の場を是非提供してほしい。

- ・スポーツ講演会について。小学校低学年の子が興味を示していた。低学年向けにスポーツ講演会を行ってほしい。
- ・月1回図書館から出張おはなし会に来てもらっている。お互いに施設のアピールをするいいきっかけとなった。来年度も連携をしていく。図書館に近いという場所柄、のびすくで絵本の貸出はせず、図書館を案内している。

【広瀬図書館】

- ・児童館では、広瀬図書館と何かしらの関わりを持たらいいなとは思っていた。どういった形で手を結んで子どもたちに本を広げていくかということ相談していきたい。
- ・小学校向けに実施しているブックトークについて、児童館でもぜひ実施してほしい。
- ・子供の通う小学校の校外学習として図書館見学があり、職員の話や書庫の見学などがとても楽しかったようだ。今後も是非受入を続けてほしい。
- ・貸出冊数が10冊までになったことについて、たった3冊の違いだが、その違いはとても大きいようで、子どもたちもとても喜んでいる。
- ・児童館では日々様々な出来事が起こる。いじめや病気、家族などのテーマで、児童館の職員から子どもたちにメッセージとして伝えたいことが出てくる。子どもたちに柔らかに心に訴えて、メッセージを伝えることのできる本の紹介やセレクトといった形で助けてもらえると大変嬉しい。
- ・貸出冊数が10冊までになったことはとても嬉しく思っているが、予約の冊数については10冊のままになっている。予約資料の中には順番待ちとなるものもあり、他館から取り寄せた資料を多く読みたい人間にとっては枠が足りなくなる。早急に増やしてほしい。

【榴岡図書館】

- ・毎年エキヒガシ七夕交流会に絵本の読み聞かせなどで参加してもらっているが、今後も継続していく予定なので是非参加していただきたい。
- ・職場体験などを受け入れているとは思いますが、若い人がもっとボランティアなどで活躍できる場を提供してもいいと思う。
- ・生涯学習支援センターとしては、事業を進めていくのは難しいので共催していただけると相乗効果もあって良いと考えている。
- ・今年度は消しゴムはんこづくりの講座からスタンプラリーへ繋げる依頼をさせていただいたが、その他に今後も向上的に連携できる事業があれば協力をお願いしたい。
- ・個人的にも通勤途中に利用している。学校の教材で使用したDVDも榴岡に返却できるので大変助かっている。ただ、DVDはポスト返却ができないのが残念。学校教材としてDVDをよく借りる。ポストに返却できるようにしてもらえれば嬉しい。